内外タイムス THE NAIGAI TIMES
10月18日 火曜日 17日発行 昭和30年 西暦1955年
第3251号
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5

きょう三木・大野会談

"鳩山総裁・岸幹事長"をダメ押し

民主党の三木総務会長は十七日午後三時半から永田町のグランド・ホテルで自由党の大野総務会長と会見、三木会長から❶鳩山総裁による早期合同❷党三役は幹事長を民主党の岸信介氏とし、総務、政調の両会長は自由党から出す❸閣僚は民自同数とする。との意向を重ねて大野会長に伝え協力を要請 [illegible]

㊤三木武吉氏 ㊦大野伴睦氏

[illegible] 合同を党議で決定することが先決だ』と述べ早急な党議決定を要望するようこんで話合う模様である。三木会長はこの会談を終ったあと、同日夕刻岸幹事の経過を伝え、党議決定への取運び方を中心に合同推進について協議する。

ず、政調会や内閣として政策を盛込んで考慮すべき段階にきている。このため現在進められている保守合同の問題もできるだけ早く結論をつけることが必要であり、いつまでも長びかせるのはよくない』と進言した模様である。

鈴木委員長 河上氏訪問 社会党の鈴木委員長は十七日午後一時河上顧問を東京日暮里の自宅に訪問、両社統一に対する同顧問の努力について謝意を述べ今後の党運営について一層の協力を要請した。

合同党議 廿五、六日ごろ決定へ

[illegible] ある。

文相、首相を訪問 松村文相は十七日午前十時小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪ね、新生活運動の現状について報告を行うと共に明年度予算編成、保守合同問題について約四十分間懇談した。席上文相は『すでに三十一年度予算要求が各省から提出されているが、これは事務的なものにすぎ

根本官房長官談 三木総務会長とは二十分間位いろいろの情報を交換したが、保守合同問題は予定どおり進んでおり、党議の決定は二十五、六日頃になるものとみられる。保守合同問題は大してずれずに予定どおり進んでいる見通しだ。党議の決定は二十五、六日頃になると思う。党議決定後は新党準備会にきりかえ、そこで新党の人事とか新党結成の手続きなど決めるが、主要な人事などは従来どおり四者会談で話合っていくことになるだろう。きょう午後には三木・大野会談が行われるが、両者間でそれぞれの党内情勢について意見の交換を行い、総裁問題を含めた人事問題について相当突っ込んだ話合いを行う。この会談である程度の方向が出るものと期待している。

野溝氏、訪ソ結果を首相に報告 さきに帰国した訪ソ議員団団長野溝勝氏(社)は十八日午前九時半首相と会見、訪ソ結果を報告する。

今夕外務省で調印

日英通商交渉ついに妥結

[illegible] 貿易取決め、朝海公使とバーナル商務次官補との間で付属録の署名が行われる。先週来の会談で最後まで調整のつかなかった石油問題について十七日午前及び午後の会談で日英両国がそれぞれ妥協し合い問題の討議を終えることになったものである。

代表団筋によれば新貿易取決め概要は次の通りで、ポンド地域の対日輸入額は特に規定されていない。

一、日英支払協定の期間は十月一日から明年九月間とする。但し貿易取決めは十月―明年三月間の半ヵ年間で、明年四月以降について [illegible]

同日夕刻外務省で重光外相とデニング英大使との間で新支払協定お [illegible] らの輸出)など主要品目についての輸出入額をそれぞれ取決めた。

コロンボ会議始る

主要議題 構成、有効期間など

【シンガポール十七日発ロイター=共同】コロンボ計画閣僚会議は十七日シンガポールで参加十七ヵ国の代表が出席して開かれ、会議はロバート・ブラック・シンガポール総督の開会の辞で始まった。

【メルボルン放送十七日RP=共同】コロンボ会議は十七日シンガポールで開幕したが、コロンボ計画の活動を一九五七年以降に延長するかどうかが最重要議題の一つとなろう。この問題では参加十七ヵ国のほとんどが延長に強く賛成しており、カナダのピアソン外相は十六日シンガポール到着に当り『カナダは新期間に同計画に対する寄与を削減する意思はない』と語り、ホランド・ニュージーランド首相も延長の希望を表明した。またコロンボ計画が国連や諸外国によって進められている対外援助計画の一部を包含できるようにするため参加国の範囲を拡大する可能性もあるといわれる。

百億円に増額 英の醵出金

【ニューデリー十六日発AP=共同】権威筋が十六日明らかにしたところによれば、英国はコロンボ計画に対する醵出金をほぼ四倍に増額、一千万ポンド(約百億円)を醵出する意向であるとインド政府に通告したといわれる。なお英国は今年で終る六ヵ年間に二百八十万ポンド(二十八億円)をコロンボ計画に供与した。また同筋によれば英国はコロンボ計画への開発援助として、英国が保有するインドのポンド残高中十五億ルピー(三十四億円)を解除する意向した。この結果同残高は五億ルピー(四千百五十八億円)となった。

ジグザグコース 人権と車権

きたる二十一日から『全国交通安全週間』がはじまる。二十九年は交通事故の数は九万四千件で戦後最高だったという。二十二年の一万八千、二十三年の二万一千にくらべて大変なふえ方である。

大きい事故では洞爺丸や紫雲丸など横綱格だが、この例でも判るように、被害者が注意してもどうにもならぬ事件が多い。被害者の不注意とされる鉄道事故などでも、踏切があれば事故は起らなかったに違いないというケースが少くない。そこで個々の事件についてどちらの責任か明らかでない場合には、交通機関の側に責任があるとする原則をきめたらどうであろうか。

パリでは道路を横断する人間の方が、自動車より優先権があるという話を聞いたことがある。いかにも人権尊重の先頭をきった国らしくて面白い。

たしかに外国は交通機関が発達しているだけに、交通道徳はすぐれているようである。東京で道路を横断する場合には左右を見渡して、時にはかけ足で渡らねばならぬ。完全に『車権尊重』である。ところが筆者はさいきん、自動車の方が止って運転台から通行人に先に渡れと合図している場面に二回遭遇した。珍しいこともあると見たら、二回とも外国人(一回は米軍人)の操縦する自動車であった。まず日本のタクシーや自家用車には期待できない図である。

スピードをあげる京浜国道なども、ところどころ速度を落さねばならぬような設備を考えたらどうだろう。ロータリーはかえって事故のもとだというが、それなら大型トラックの幅くらいに杭を打つという手もあろう。

いずれにしても、交通量はふえる一方なのだから、強力な人命保護の手段を考えなければ、事故はふえる一方だろう。日本人は西欧文明をとりいれることは好きだが、それに伴う人権尊重の方も、この際とりいれてもらいたいものである。(良)

地獄耳

感激のない 左派の離かれが、道端で右派の川俣清音氏をつかまえ、『今度はよかったねえ』『あァよかった。これでお互いやりよくなった』『全くだ。しっかりやろうよ』『うむ、やろう』つまり左右両派の統一が出来て、選挙がやりよく、当分わが家は安泰だということらしいが、調子が低くて感激も何もない、気のない問答である。

ネ』『どうにか漕ぎつけそうだ』『ボクらの方はヤッつけたから、君らもいい加減に一緒になった方がよいぜ』政界分野がハッキリしたところで、革新・保守両派が、国会壇上で、堂々わたり合う。想像するだにユカイじゃないか。ぜひとも運びをつけ給えよ。自分の地位にこだわり、酢のコンニャクのとぬかす奴もいるが、大勢はぜひもなし、合同必至だ』『そうか、そうか』で、右左にスレ違い。

スレ違い問答 これも左派の正木清氏、保守派の知人をつかまえては『保守合同はウマク行くのか

欧州かけある記 ④ 近藤天

フランクフルト

写真はフランクフルト郊外にある米軍欧州総司令部(筆者撮影)

急テンポで復興

デンとおさまる米軍欧州探題本部

ゲーテで名高いこの町はラインの支流マイン川に沿った古い都会で、本来なら西独の首都になるべきだった都市である。ドイツの心臓部にあたる工業都市で、戦争の被害も大きく、市街の実に八十㌫が戦禍をこうむったそうである。しかし活気があって復興の足どりはどこよりも早く近代建築が建ってモダンな都会に変りつつあり、各種工業が続続復旧されている。

有名なライカの工場も郊外にある。繁華街は爆撃でひどくやられており、一階だけ修繕して営業している店も多いが、商品は豊富である。

西ドイツの中心都市だけに、米軍ヨーロッパ総司令部もここに置かれ郊外に高層のビルをつくっておさまっている。西欧陣営の最前線という感が強い。米軍用の高級アパートが続々と建ち、自動車も、ここだけは国産の小型車が、アメリカの大型車のはんらんに圧倒されている。

ゲーテの家は復旧され、博物館として公開されている。文化都市らしく、方々の街角にゲーテやシラー、印刷術の発明者グーテンベルヒの銅像や記念碑が立っている。こういう静かなたたずまいと対照的なのは、駅前一帯の飲み屋街である。空地に沢山できているバーではドイツ女がワイワイ騒いでいる。相手はほとんどアメリカ兵である。流し歩いて客をあさるヤミの女も多い。何年か前の新橋、有楽町かいわいを思わせる風景だが、『光を、もっと光を』と叫んだゲーテは地下で何と眺めているだろうか。

ドイツ体操連盟の本部もここにあって、市長のコルフ博士が会長になっている。

フランクフルトからバスで五十分のところに温泉場ウィースバーデンがある。保養地として有名で、紀元前の古代ローマ時代から知られているが、今は室内五十㍍プールがモダンで行届いた設備で外来客をうらやましがらせている。こんな所を見ると、温泉国日本がいたずらに歓楽遊蕩の場になっているのが情けなくなる。

体操の本場で体育館が多く、小学校の体育館もすばらしい。どうも日本とは、復興のねらいが違うようである。ドイツというと北国の暗さを連想するが、明るい、感じのいい落着いた温泉地で、旅客の数も多い。(筆者は本社監査役)

粋人酔筆

ピンプの夜

南部僑一郎

『あいつは女とさえみりゃァ、すぐ…』と眉をしかめていう奴がいる。下劣だ、という意味なんだろうが、こいつは的外れの批評で、いうならば、少々動物的で(動物は選択性がぜんぜんない)そのうえ健康だ、ということ以外にとり立てて違った青年じゃない。

助監督(監督の助手で、ゆくゆくは大監督になろうと、本人だけは思っている種類の青年)の山野も、この種類に属する人間で、その上、都合の悪いことには、あるいは、至極都合のいいことには、他のスタジオ人どもから『あいつ、役者になりゃァよかったのに』といわれるほど二枚目で、しかも健康でたくましかった。もっとも助監督なんて稼業は、鬼のごとく健全でないことには勤まらないが…。

この稼業の青年には貧乏はつきものだ。美男で金がなくて、腕ッ節が強くて、ちょいと喧嘩ッ早くて―とくれば、落ち行く先はどうなるか。たとえば、上は新橋へんから、下は池袋の私鉄の終電に乗りおくれたサラリーマンをすくい上げる程度のパンパンあたりまで、あぶれて淋しいときに、この山チャン青年に逢うと『どう、割カンでいっぱい、いかない』と誘うのである。彼と一緒だと、気ッぷはいいし、カツドウ屋だから、服装はパリッと粋だし、頼もしくって、自分の格が少し上ったような気になるそうだ。

つまり、前にいった『都合の悪いことには』とは、このことだ。彼は、自然にピンプみたいな立場になってしまうのである。ピンプとはアメリカ俗語で"オトコ・メカケ"である。

『田村町から少し横町にはいったところへ、夕方の五時ごろ、散歩しててみろよ、君みたいだと、絶対にひっかかるぜ』と、山チャンはしばしばいわれた。日本人以外の、遠い他国のニッポンにきているご婦人連中が、淋しくってたまらない。そこで自家用車でこれと思う青年を探し出して招待する。という伝説がある。ただし、伝説だけで、誰もまだ、そんな目に会ったと聞いたことがない。『じょ、冗談いうない、こっちァ、ひっかける方で、ひっかけられてたまるか。降るアメリカに袖はぬらさじ、だ』

『へ、古風なこと知ってんだなァ、ただし、ぬらすのは、袖じゃあるめえ』なことをいった。その日の夜更、銀座五丁目の文芸春秋新社のあるほとりの裏街のバーで、ひとりでのんでいた。

だが、その夜の彼は、まさにひどいアブレかただった。この店はシャイでもいいが、さて、それから先の目当てが全然ない。と、まったく注文しないカクテールが目の前に現われた。『どうしたんだ』ときくと『あのご婦人が、差上げてくれ、っていわれるんで…』とバーテンがいう。うしろのボックスをふり返ると、あきらかに日本人でないご婦人、ただし、たしかに四十はとうに過した女だ。

これがきっかけで、彼はボックスに呼ばれて、さて差し向いになってのみはじめた。日本語がひどくうまい。聞けばアメリカでなしに欧州の女である。『一緒に帰りまショ!』と彼女がいう。一ぱい機嫌ともなれば『降るアメリカ』もハチの頭もあるものか。第一アメリカじゃない。上品なる欧州女である!

彼女の家は渋谷のずっと奥だった。でっかい屋敷でシーンとしていた。少し気味悪くなった。シャワーを浴びせられて、さてベッドだ。それから…

『あァッオイチイ、オイチイ……』

この上品なる四十すぎの欧州婦人は、まさに、そのとき、日本語ではっきり、こう絶叫したのである。

東京株式仲値 □新株落 △配当落 (17日前場終値)							
特定銘柄		信越化	70	倉レ	123	小西六	107
東海上	258	東高圧	147	旭化成	388	カボン	40
郵船	62	昭電工	113	山陽パ	136	三井物	136
新三菱	76	日本曹	97	日本パ	115	第一物	131
日清紡	275	旭電化	85	国策パ	135	白木屋	―
味の素	296	三菱造	93	東北パ	117	高島屋	97
三越	292	三井造	124	大東紡	100	日活	72
三菱地	504	三菱重	65	商船	49	松竹	210
平和不	211	石川重	94	三井船	52	東宝	―
三井金	123	精工	148	飯野海	60	大映	163
三菱金	120	東洋ベ	128	西武	―	日本粉	133
日鉱	113	日立造	58	藤田興	219	日清粉	128
住友金	119	浦賀	65	東京ガ	82	日本ビ	183
三菱鉱	59	日平	18	東電	612	朝日ビ	195
古河鉱	85	古河電	71	日銀	―	キリン	115
同和鉱	140	日立製	78	東銀	56	宝酒造	130
住友鉱	[illegible]	東芝	67	三井銀	73	台糖	267
三井山	73	三菱電	80	富士銀	―	明糖	135
北海炭	72	小松	61	日証金	83	甜菜糖	130
東邦亜	74	日本光	150	安田火	106	野田	115
帝石	75	キヤノ	168	大正海	94	森永	185
日石	109	東京光	37	住友海	86	明菓	182
昭和石	131	東洋紡	175	千代田	75	日水産	97
東燃	135	鐘紡	143	鋼管	84	昭和産	119
三菱石	144	富士紡	130	日製鋼	68	東洋醸	88
大協石	140	大日紡	94	八幡鉄	60	合同酒	146
日東化	93	日東紡	65	富士鉄	57	三楽	128
日産化	78	片倉	36	神戸鋼	55	大阪糖	176
三菱化	108	東邦レ	120	日特鋼	110	王子紙	259
三井化	135	帝麻	39	日軽金	185	十条紙	288
協和醗	134	中織	49	日金工	72	本州紙	103
東合成	139	帝人	157	日セメ	167	三菱紙	97
三共	179	東洋レ	200	磐城セ	193	北越紙	72
		三菱レ	137	小野田	91	三井不	802
				横浜ゴ	146	三井倉	96
				旭硝子	179	渋沢倉	96
				富士写	157	東洋埠	219

市況 先高期待

先高期待人気に支えられて週明けは引続き人気好調、大証券の優良株買も根強く続けられているので全般の市況は穏健なジリ高歩調を改めない。特定株は融資残の三十一億円台乗せにかかわらず目立った売物もなくマバラ買いが散見されて軒並一―三円方面り、雑株は概して五円内外巾の小動きにあるが、出遅れ気味のビール株や電力株が軒並買われて十円内外上値したほか業債見直しの理研工、東横など物色されて小高いもの多く全般は商内活況のうちに続進商状をたどった。

▽高い株=北陸電十二円、朝日ビ九円、八欧電八円、日ビール、キリン、関西電七円、東北電六円、野田醤油、芝浦糖、日立精、中部電五円

内外抄

久原氏、最初の日本人として毛主席に会ったが、内容は大風呂敷に包んで当分ひらかぬそうな。

◇

毛主席が久原氏に不可侵条約を持出したとやら。コイツはソ連にこりている代物でねえ。

◇

ソ連が西欧に対し強硬になったというし、ダレス長官の対ソ態度も強硬。外相会議がおかしくて。

◇

きょうからコロンボ会議、『技術援助』を売り込む石橋通産相。これからのご機嫌とりはこちらへ。

◇

運動会場で天皇様のテントへ迷いこんだ子供との写真、戦後ならではのほおえましいもの。

川柳

秋風が破れ障子をはらせてる 練馬 飯田光泉

マンボ薬給仕はウーとつい 千代田 斉藤

食うための釣りをしている失業者 中野 高野芸太郎

洋パンになってワキガが役に立ち 北 松本いわを

満員車スポンジの胸意識する 荒川 凡倶楽

金釘の球歴先に入社する 三 鷹 鮭 郎

秋の雨孤児へ夕餉が匂う街 大田 根本松浪

青春無宿 (160)

大林清 作 下高原健二 画

ねらう男 (二)

『光代、ありのままを木島さんにお話しな。木島さんはお前のお力になってやろうとおっしゃっているんだから』

意地の汚ない弥一は、たてつづけにあけた酒で、はやくも舌をもつれさせている。酒を飲むことを、仕事に生きているようなこの男には、ほかのことはなんでもいいのである。

『じゃァわたしから云おうか、あの小切手の金ってえものは、つまりお前さんの身代金なんだろ』

木島は蛇が蛙を見こむような眼を、光代にすえた。

光代はなんとなく悪寒をおぼえて、ブルッと一つ肩を慄わせた。

ただへつらっているだけの演技だった。

『だからさ、さっきの話なんぞいいと思うんだよ。光代さんだって新聞にまで出されてしまっちゃァ、今までのところへ勤めている訳にもいかないだろうし、ここらで真剣に身の振り方を考えなきゃならないんだ。あんな小切手なんぞは清く返しちまってさ、いや、まァ買い徳にする手もあるが、五万円ポッキリじゃァわたしの方へ返してもらうだけで、先行きのためにはなんにもなりゃしない』

『そういう訳です』

そこへちょうど女中が料理を運んで来ると、弥一は待ちかねたように箸を動かしはじめた。

光代には少しずつ木島の魂胆がわかって来た。かねて自分に眼をつけて、弥一を籠絡していたことなどから、菅野にとって替ろうとするのが、木島の肚だとばかり思っていたが、どうやら目的はほかにある様子なのだ。

『銀座の勤めはやめるんだろう』

木島が光代へ心をむけた。酒にはあまり強い方でないので、もう眼の中まで真っ赤にしている。

光代はかすかにうなずいて見せた。少くともスカーレットで働く気のなくなっているのは事実だった。

『そりゃそうだ、みっともなくて行けるもんじゃない』

木島は我が意を得たように二つ三つうなずいて、

『わたしが力になろうといったのはそこのことなんだ。まァ一杯どうだね』

と、干した盃をつきつけた。

『お前さんは五万円という金にからだを張って、死んだ菅野という男のところへ行ったんだ。まァそれは小切手をもらう前のことかも知れないが、ともかくあれはそういう金だね。お父っあんとも話したんだが、何故その前にわたしに云ってくれなかったんだ。そんな気になるんだったら、何も北海道の漁場の親方なんか相手にすることはない、お前さんぐらいの器量がありゃァ、それこそどんな果報だってつかめようってもんだ』

木島は意見でもするような云い方をしたが、光代が一向に口をひらきそうにないので、そのあとを弥一へ、

『だいたいあんたがいけないね。娘を食いものにするばかりが能じゃない。光代さんの出世ということも、親としちゃァ当然考えてやるべきだよ』

『どうも…』

弥一は頭をかいて恐縮したが、

乙女狂言強盗の顛末

十代のナゾ秘める失踪！

注意深い読者ならば、記憶に残っているかもしれない。去る八月二十七日、日曜日の午後、品川区内に"白昼麻薬強盗"事件が発生した――同区鈴ケ森会社重役渡辺信三さん（五三）長女敬子さん（一七）＝仮名＝が留守居中、扇子を売りにきた押売りに麻薬で意識不明に陥らされ、現金二万五千円を奪われた。翌朝の新聞には大きく報道され、また所轄大井署でも大胆かつ悪質な犯罪として血眼の捜査を開始した。その結果は※

※届出のような強盗が入った形跡もなく、結局敬子さんが打った狂言強盗であることが判って、事件はあっけなくドンデン返し。だがご本尊敬子さんは狂言と判るや姿を消したまま現われない。同署でも相手が思春期の少女だけに間違いがあっては大変と、その後の調べを打切り、真相が判らないままに今日に及んでいる。以下ここに乙女心の謎を秘めたこの事件の顛末を綴ってみる。

大胆 単純　解し切れぬ心理
囁いた？"マンボ"の悪魔

事件の発端

焼けつくような太陽に汗をふきふき、用事を済ませて敬子さんの父信三さんが帰宅したのは丁度午後の三時ごろ。玄関から入ろうとしたが、カギがかかっているのを不審に思いながら裏手に回ると風呂場の窓が開け放たれ、中をのぞくと泥のついた履物の跡が奥まで点々とつながっている。『空巣だ』と直感した信三さんは慌てて駈け上り家の中を方々調べたが、衣類カメラなど貴重品は何一つとして盗まれていない。『よかった』と思わず安堵の胸を撫で下したがそれも束の間、次の瞬間人気のない筈の押入れから洩れてくる人のうなり声にギクッとなった。思い切って襖を開けると、視野に飛込んだのは腰ひもで手足をしばられ手拭で猿ぐつわをはめられた敬子さんが、顔面を蒼白にして昏倒している姿。驚いた信三さんは転げるように隣家に救いを求めるとともに、一一〇番で大井署に急報した。署長以下署員が駈けつけたとき敬子さんはムックリ起き上り、悪夢から覚めたように係官に語る当時の模様はこうだった。

鮮かな狂言

午後一時を一寸回ったかと思われる頃、風呂敷包を抱えた浮浪者風の男が玄関から入ってきて『扇子を買ってくれ』と風呂敷包を拡げ中味を取り出した。『誰もいませんから』と断っても男は立ち去らず、なおも執拗に押売りする。『ねェちゃん、これはいかがです』と拡げられた本に好奇心も手伝って鼻を当てると、これが何ともいえないとろけるような甘ったるい香気。思わず二、三回深呼吸をするとボーッとなって、あとはもう何も判らなくなってしまった。男の人相は四十五、六才、五尺三四寸、四角で骨張った顔に鋭い眼が変に印象に残り、黒っぽいポロシャツようなものを着ていたが、風呂敷包みを膝の上に拡げたのでどんなズボンをはいていたかは判らなかったという。これを聞いた近所の人たちも口を揃えて極悪非道な犯人を憎み、敬子さんは同情を一身に集めた形だった。また被害品は六畳間の箪笥の小引出しに封筒に入れてしまってあった前日支給されたばかりの月給の一部二万五千円であることも夕方帰宅した母親によって確かめられた。

ばれた大芝居
その夜コッゼン姿消す

混乱の捜査陣

地取り聞き込み捜査が始められ、また大胆な手口から犯人は前科者とみて指紋の検出に全力を注いだ。事件の届出があった三日後の二十九日には伊豆新島の新島署から同島の新島旅館に宿泊中の男が手配の人相によく似ている上同島に現われた時刻も犯行時間とにらみ合せると一致するとの連絡もあって、こちらの刑事たちを一時は緊張させたほどだった。ところが三日はおろか四日たっても肝心の現場近くには足取りも犯人の目撃者も出なければ足取りも掴めない。足を棒にして歩き回るのが商売の刑事たちも、さすがにしまいにはノイローゼ気味になってきた。

また一方、用いられた麻薬が何であるかを調べるため警視庁から鑑識課員がエーテル、クロロホルム、それにワニリンなど五種類を携えて敬子さんに検証させた『これでもない。いや、これも違う』と一つ一つを嗅いでいた敬子さんはワニリンを鼻先に当てるといきなり『あッこれ、これに間違いありません』というなり『ウーム』とうなってその場に倒れてしまった。ワニリンはアイスクリームなどに使う香料で麻薬でも何でもない。係官もはじめてこの事件の疑惑が何であるか判ったような気がした。それにまたどんな麻薬であろうとかがされてすぐ昏倒、手足を縛られても気づかないというのはおかしい。不審な点はもう一つある。数個のサンダルの跡は風呂場から座敷までに残されている同家のものとピッタリ、しかも、それに付着している土まで同一であることも判った。娘さんの大胆な一世一代の名演技の種明かしも、あとはただ敬子さんの自供を待つばかり。同署に呼ばれた敬子さんはとうとう隠し切れず狂言であったことを自供した。

ところが肝心要の『なぜ狂言をしなければならなかったか』という係官の質問には一切口を割らないばかりか、その夜から何処かへ忽然と姿を消してしまった。花も恥らう乙女として、原因や理由はともかく、そこまで計画した大芝居が土台から崩れ去ったということは、余りにも大きな堪えられない衝撃であったのだろうか。姿を消してから一ヵ月半、彼女は同署へも現われず、また家でも何処に行ったのか全く心当りがないといい学校へも出席していないことが明かになり新しい心配が起きてきた。

派手で開放的
ボーイ・フレンドに金を無心されてか

彼女の性格

まだ蕾も開かない少女だけに、もし万が一事故でも起されては大変と同署でも扱い方は極めて慎重。真相は敬子さんの口からもれない限りその全ぼうをつかむことはできないが、同署のいままでの調べでは、敬子さんの性格は非常に開放的で、家庭も経済的に恵まれているので数名のボーイ・フレンドとの交際もかなり派手だったようだ。事件についてはたまたま一人で留守居中、退屈しのぎに呼んだボーイ・フレンドに金を無心され、体裁上ないともいえず思わぬ大金を貸してしまったのを、両親への言い訳に困って苦肉の策に狂言強盗を演じたのではないかとみられている。

近くに住む遊び仲間の事務員A子さん（一七）の話では『小さい時から人との交際もよく、そんな大それたことをする人とは考えられない』といっているが、近所では『非常に派手で年齢以上にしっかりしており、決して押売りなど寄せつけるような娘ではない』とまるで狂言を暗示するような口振りである。いずれにせよ警察力を空回りさせた人騒がせなこの事件は単なる出来心とは考えられない。女性生来の虚栄心か、それともマンボに狂う同時代の頽廃したモラルの影響であろうか。

美人以外はおまわりさんの珍劇

いつもいかめしい姿で街の治安に当っているお巡りさんたちの芸能大会が、十五日午後文京区公会堂で開かれた。これは本富士署開設八十周年を祝ったもので、家族慰安のため、警棒を棒紅に持ち替えての舞台出演とはなった。

楽屋口には『美人以外の出入は固くお断りします　進行係』とイキな口上が貼出してあり、廊下を行き来する非番のお巡りさんたちも日ごろに似ないなごやかな表情でいかにも嬉しそう。廊下の片隅では奥さんの晴着を気にして『おシッコおシッコ』と叫ぶ子供を抱えてオロオロするお巡りさんの姿も見られ、いつもとは打って変って気の弱いこと――さて楽屋では婦警さんの介添えで『お化地蔵』に出演する北沢捜査部長らがメーキャップの真っ最中。『上野のオカマたちは確かに化け方がうまいよ』と、飛んだところで感心。元気が良過ぎて珍劇の連続だった。

写真（上）は、こう小さい棒では手がふるえてかなわん――楽屋で　（下）は、なんでも白いのが気になる劇『愉快な仲間』の舞台

◇　◇　◇

夜汽車ひる汽車　列車ボーイ座談会　⑤

十人十色、女の寝姿
妄想させる妖しい眺め
百年の恋さめるイビキ

A　このごろ、歌謡曲で随分列車を歌ったものがあるが、それだけ鉄道が大衆の生活にとけ込んだといえる…。

C　高原の駅よ、さようなら…、三分停車じゃキスする暇もない…。（笑声）

D　赤いランプの終列車、夜のプラットホーム…。

B　別れのベルが鳴ったり、星がまたたいてるうちはよいけど、夜のプラットホームは大変な眺めの時があるんだ。よく座席に横になって足を立てて眠ってる人がいるけれども、男はとにかく女はスカートだから…、車内から見えぬと安心していても窓ごしに丸見え…。（笑声）

C　はくべきものは、はいてるんだろう…。

B　妄想を起させるので、なお悪い…。（笑声）

D　眠り込んでしまうと女の人はだらしがない、着物の前はハダける、スカートはまくれ上る…。

C　どんな美人でも寝姿が見っともないのは、百年の恋がさめ果てるね…。（笑声）

B　そんな時、モシモシ大切な所が見えてますよ、というわけにもいかないから、窓のカーテンを閉めたり、わざと音を立てそれとなく注意を促す…、実に行き届いたデリケートな心使いである。（笑声）

C　お客さんの眠りの妨げにならぬよう、足音をしのばせて点検して歩いているのに、翌日"昨晩は一度も点検に来ないとはけしからん"などと叱られると、がっかりしちまう…、自分はグウグウ寝てたくせに…。

A　自分の感情を殺して、お客さん本意のサービスをしてるつもりでも、やはり生身の人間だから時には面白くない時もある、武藤代議士問題など、その良い例だ。

D　発端はごくつまらぬことで、感情のもつれから大きな事件になってしまったんだろう。

C　これは私個人の考えだけど、もし山口シヅエさんが一緒でなかったら、あんなことにはならなかったと思う。

B　独身で美人の評判高い女性の前では、武藤さんも後にひけなくなってしまったのではないか、よいところも見せたいだろう…。

D　武藤さんや山口さんは社会党の代議士なのに、何故ああいうことになったかと残念だ。

B　あの事件で随分評判を落している…。

C　検札していても、間違いや、不正の切符は手に持っただけでわかる、麻雀と同じ…自摸ったときの手ざわりだね。

A　東京から都城まで三十時間、交替なしで往復勤務するわけだから、いままで走った距離を計算したら日本中を何回まわったかわからない…。

D　自分の乗った分を汽車賃で計算してみたら、三等運賃でも自分の給料とケタが幾つか違うのだ、これだけ貰えたらなァ…と考えちゃった。（笑声）

C　勤務中は緊張しているせいか、それほど疲れを感じないが、終着駅に着いて汽車から降りるとガックリくる。

出席者
東京車掌区　A（勤続三十年）　B（同　十六年）
上野車掌区　C（同　十五年）　D（同　十三年）

モダン歳代記
遊女身請証文

文化七年十月十八日付の遊女年期証文の一例が『花街風俗史』に出ている。十八才の金兵衛娘はつを請人吉兵衛、家主家右衛門連書で、楽衛老屋久兵衛に身売りさせた文書である。『右之はつと申者、芝高輪北町五人組持店金兵衛之娘にて、貴殿方に今般二十五年一杯之暁迄、金子百弐拾六両にて御抱へ被下、水金として金三十六両御渡被下、慥に請取申候。跡金之儀者、人別と引換に可致候。此者勤中横合より彼是申候者有之候はば、我等罷出埒明可申、貴殿江対し少も御迷惑相掛申間敷候。宗旨之儀者代々念仏宗にて、寺者浅草寺町宗国寺檀那に紛れ無之候。年期証文為後日依而如件』

『泣く娘そばで件の如しなり』の川柳を髣髴とさせる文書で、当時の身代金が百二十六両で、水金（身付金＝支度金）三十六両を先ず払い、残金は本人が青楼にいってから支払うということ、また家主が立会人となり、菩提寺まで明記している周到さもうかがわれる。『嘆き悲しむとは口へ四つ手がくる』吉原から迎えの四つ手籠が来た光景で、人身売買の哀れな姿である。（鮭）

瓦版

美ぼうマダムは学生好き　銀座は三原橋に近い喫茶店"M"のマダムはそれはそれはダンスがお好きだそうだが、毎週土曜日ともなれば午後七時にはお店を片づけてダンス場に早変り。もちろん会員制だが、会員紹介があればとくに学生など、美貌のマダムが手をとってダンスを教えてくれる。それで会費不要だとあって中々の盛況。

文学紳士にはもってこい　国電荻窪駅前に『麗人献身的サービス』の看板をかかげた"D"なるバー。看板に偽りのないことは立派なもので三人の麗人が文字通り終夜献身的サービスをするというので評判。なかなか繁昌している。不良紳士にお奨めするゆえんだが、場所柄文学趣味にこっていて、先日も『喧噪酒場でさえも孤独であった』なんてキザな言葉を並べている青年が大いにモテていたのを目にした。よって献身的サービスを受けんと望むお方は、シャレた言葉の二つや三つは用意してゆくこと。

ナサケあり女乞食　新宿はフランス座裏の暗がりに佇む三十あまりなる女乞食、とみるはヒガメで乞食然たるは彼女の"盛装"なのだ。というのは彼女、よっぱらいとみれば近づき、何くれとなく介抱にいそしむ。さて酔客が彼女の奉仕に感激、いくばくかを恵もうとすれば『その御厚意があれば』てなことで、新大久保に近い自宅に伴い、ロハの"恵み"を受けるそうな……ちょっとぐらいきたなくとも……とのスリルを求めるご仁の探訪向き。

あすの運勢　＝十月十八日＝　高島象山

▲一月生―何事も他動的に迷惑災害を蒙り易い他意なく稼業を守れ
▲二月生―技倆を発揮して努力すれば効あり社交外交交渉等は注意
▲三月生―物事順調に進展し利達栄昌あり開業結婚造作移転大吉也
▲四月生―理想と現実と一致せず気迷い失態起り易い家庭に不和有
▲五月生―何事も油断なく一志以て努力すれば平穏の内に幸福あり
▲六月生―気運旺盛で人気あり信用を増し利達栄昌あり開業結婚吉
▲七月生―何事も動揺変化起りて心気落ちつかず気迷い失敗有易し
▲八月生―稼業大事と現場維持に努力すれば栄達あり旅行移転よし
▲九月生―躍進向上の義ありて新規方針を実施し或は改革栄達あり
▲十月生―躊躇なく英断的に活動し勇敢に努力して成果あがるなり
▲十一月生―何事も環境事情が悪化して失策損失を起し易い旅行凶
▲十二月生―目標を定めて進展を計れば順調に進む開業移転結婚吉

風流世界譚　……（ブラジル）……

動物研究家のギマラン博士はまことに話上手。そのサロンにはよく上流の婦人連中が集っては博士の珍しい話を聞くのを楽しみにしています。きょうも博士邸では五、六人の婦人達が彼を囲んで面白い動物の世界の話に耳を傾けていました。

『言葉というものがわれわれ人間だけのものと思ったら、これはとんでもない間違いなんですよ。動物にだって、彼ら同士の間に通じる立派な言葉がちゃんとあるんですからね』

『アラ、面白いわネ。恋人同士の言葉なんかどんなふうにいうのかしら。聞いてみたいわ』

『そのものズバリにいうのよ、きっと』

婦人たちが一しきり、思い思いに口の騒動をはじめると、サントス夫人がヒザを乗り出して

『先生、コン虫の世界はどうでしょうかしら、たとえば、そう、ノミなんかー』

それを聞くと、博士はニヤニヤ笑いながら

『もちろんコン虫にも意思を通じ合う言葉はありますよ。でも奥さん、ご心配なさるな。ノミはおしゃべりじゃありませんから——』

東海毒婦伝　青とかげ（101）
野沢純　土端一美画

ながれ雲（八）

旅の一夜は空しく明けた。安房鴨川の宿をあとに、松崎川を渡船で過ぎると、左の方に鏡忍寺の松林、右が海沿い。天津を経て、やがて小湊。西に聳えて見えるのは、清澄山の幽邃（ゆうすい）である。いち山こめて、杉は亭々。日蓮が遂々とこの山に登って時の住持、善良阿闍梨（あじゃり）の教えを受け、弟子となったのを以て名高いが、豊吉にとっては、かくべつ何の興も湧かない。

それよりも、ゆうべの恨みの方が、よっぽど身にこたえた。次の間に、並んで二つ敷かれた床を、『とよきち——お前は隣りでお寝』といわれた時の情けなさ——薄闇の宿の一と間にただひとり、脱ぎすててあるおりうのキモノをひしとかき抱いた一夜の思いが、まだ胸底に生きてうずいているのである。

——小湊を出て興津、御宿。途中、鵜原にさしかかっておりうが石につまずいた。

『あ痛た……』

不意に眉をしかめるのへ、『どうなさいました？』あわてて振返る豊吉である。見ると生爪をはがしたらしい。爪先の足袋の白さに、血がうっすらと、にじみかけている。

『これはいけない』

急いで腰から、道中用意の傷ぐすりを取り出して、仮の手当もかいがいしい。

『歩けますか？』

訊くとおりうは、顔をしかめながらも頷き返して、『だいじょぶ——』

そのまま、二、三歩運びかけたがたちまち、

『あッ痛……』

と眉をひそめる。つまずいた拍子に、くるぶしを捻挫（ねんざ）したらしい。

あいにくと、宿（しゅく）の合間で、駕籠もなく、馬も通らない。

『手前の肩に、おつかまりなさい』

いわれるままに、おりうは片手を豊吉の肩にあずけたが、ものの四、五間も行かないうちに、またかがみ込む。

次の宿まで、あと小半みち。途中で日暮れては心細い。

『手前、おぶってさしあげましょう』

豊吉は、おりうの前へ背を向けた。

おりうは素直におぶさった。両の袂を豊吉の、肩へ回すと、しっとりとした重さが背中に加わった。

『はばかりさま——手前の笠をお持ち下さいまし』

一度軽く揺り上げて、そのまま、やがて歩き出す。……京びんつけが、ぷーんとただよう。

『とよきち——重くはないかえ？』

おりうの声が、すぐ耳もとだった。

『いいえ。お店におりました頃は、これでも十五、六貫からの呉服物をかついで、小一里の道を休まず歩いたこともございます』

『たのもしいわねえ』

『へい。もともと漁師の伜でございますから。——お嬢さん、もうちっと膝をお割りになって下さいまし』

『こうかえ？』

『はい。その方がずんと歩きやすうございます』

それきり暫くは無言が続いた。

着物に襦袢——いく枚かを通して、なまめかしい女の体温が、豊吉の背中へほのかにつたわってきていた。

鵜原を出て、御宿まで、もうあと十二、三丁。この儘もっと続いてもいい——と豊吉は心ひそかに、そっと思った。

老いも若きもM+M時代

罷り出たボディ・ビル道場

安上り"整形・美容"

希望者、ヤジ馬押すな押すな

三島由紀夫氏も礼賛しきり 簡単な練習が大受け

一日おきに、わずか三十分のトレーニングで、半年もやれば洗たく板スタイルが力道山、千代ノ山ばりの筋肉たくましいヘルメス型になるというボディ・ビルディング—男性美創造の運動は貧弱な男性の趨向に合ってか活発な反響をよび、この五日には渋谷東映前スポーツビルに日本で初めてのボディ・ビル・センターが誕生、開場まだ十日目というのに百余人の練習生が汗を流し、マンボとチャチャチャ流行を尻目に男性美創造に励んでいる。本格的ボディ・ビル・センター第一号の同所を覗いてみた。

○…二十坪あまりの練習場には大、小のバーベル、亜鈴がごろごろ、まずコーチの平林俊男氏(四〇)と早大バーベルクラブ主将玉利斉君(二二)の話をきく。

『やあ、すごい人気ですネ、七月中旬の"男性美の追及"放送以来、早大、NTVと投書だけで全国から数千通、このセンターができて僅か十日というのに押すな押すなの現状で、本年中には収容できなくなるので屋上に新しい練習場を予定しています』

とニンマリ笑った。入口にはボディ・ビルの正体をみんと弥次馬がずらり。亜鈴、バーベルの挙げ下ろしだけで運動はごく簡単なので見学した人はすぐ申込み、一日平均二十人増えているという。

○…十才の小学校五年生から本年四十六才の会社重役、学生、勤人などさまざま、変り種は芸術大音楽学部の生徒が四人で訪れ、世界的な歌手になるにはどうしても胸囲一米二十糎位なくては声量が溢れないというひたむき型から、体が小さくて先生や上級生にチビチビと馬鹿にされるからという世田谷の中学二年F君(一四)みたいなものもあり、ボクシングでは体が鍛えられないからという"魚河岸の石松"君の転向組、どうもニヤケすぎているので一本筋を通したいというモダン・ビューティ・スクールのファッションボーイ、バーテン、八百屋、中華料理店主などなど。

○…作家の三島由紀夫氏(三〇)もときたま顔を出し『僕もはじめて一月で二十四・五糎の腕が今では二十七糎。徹夜仕事も疲れなくなった』と礼讃をひとくさり。これに刺激され柴田早苗さんの嫁ぎさき、森暁氏の日本冶金でも近くバーベル・クラブが誕生するという。

○…午後三時から九時まで入会金五百円、会費一般五百円、学生三百円というから整形美容などからみれば自力本願ながら格安。所長の小寺金四郎氏(五三)は

『昭和のはじめ亜鈴による健康法が普及、猫も杓子も飛びついたこともありました。このボディ・ビルも重量挙が目的でなく厳正な健康診断の末、筋肉の程よい鍛錬で促進していかなくてはならない。近く女子部も設立の予定です。女子がやると乳房、臀部は発達しウエストは細くなりますよ……』

と大いにぶつ。

○…練習生は汗みどろでバーベルをあげる。はす向いのS社交ダンス練習所の窓からマンボ、チャチャチャを中止してマンボスタイルの男女がのぞきこんでいた。

マンボ以上の人気、渋谷ボディ・ビル・センター風景

新宿大映にギャング

売店売子の手引き 警備員一名半殺し

上から斎藤、菊地、三井

十七日午前二時四十分ごろ、新宿区新宿三の二五、新宿大映映画劇場(責任者吉本元義さん)の一階事務所前ホールで、同劇場住込警備員新井要さん(四二)と同山口貫市さん(三二)=墨田区緑町一の六=の二人が床掃除をしていた際、左側階段から若い男が降りてきたので新井さんがとがめると、男はいきなり鈍器様のもので新井さんの頭部を一撃、さらに短刀で胸、左腕などを刺し全治一ヵ月の重傷を負わせて裏の非常口から逃走した。届出により四谷署で緊急警戒したところ、間もなく現場付近で新宿区十二社二六八池の荘アパート内無職菊地光雄(二四)を強盗傷害現行犯で検挙。同人の自供により同映画劇場にかくれていた住所不定無職斎藤瑞雄(二五)新宿区十二社二六ノ一同劇場売店店員三井英一(二〇)の二人を共犯容疑で逮捕した。

調べでは斎藤と三井は山梨県出身で同郷のところから仲良く、斎藤の友人の菊地が最近失業し相談にきたところから今月上旬ごろ同劇場売店に勤めていて内部の事情に詳しい三井が『土、日曜は現金が百万円ぐらい入る。三人でギャングを働き山分けしよう』と共謀、昨十六日午後菊地の背広など衣類を渋谷の質屋に千五百円で入質、新宿駅西口マーケットで刃渡約十四糎の短刀二本、金鋸、カジヤ、金てこ、麻縄などを買入れ、皮鞄二つにつめ、同五時ごろ斎藤と菊地が観客をよそおって入場、午後八時ごろ三井の指令で屋上に上り十七日朝二時ごろまで屋上の稲荷神社の陰にかくれていたもの。

変貌したYライン =完= 赤羽

"闇米終着駅"の変遷

鼻息荒い復興商店街

○…『これがバネ(赤羽)かネー立派になったナー、ヤミ米の終着駅とは思えないよー』誰もがそういう変貌ぶりである。お陰でお手上げになったのは私設食糧庫といわれた中継ヤミ屋である。食糧事情が悪かったひところは東口と西口に三、四十軒もあり、ヤミ米景気を謳歌したものだが、今ではそれらしいのがタッタ二軒、昔日のおもかげ更になしである。手持ち無沙汰のお巡りさんが逆に閉店一歩前の中継屋にやってきて『どうかネ景気は』と慰問めいた言葉を洩らすのも皮肉なきのうにかわるきょうである。

○…駅前は復興会が中心となって会員六十三名が六年前日掛貯金をしてたまった三百万円をもとでに住宅中小金融公庫などの融資一億数千万円を得て、ご覧のような(写真)商店街が出来上り、お隣池袋の客を引っぱるのだと凄い鼻息—あまり…といかがわしい飲屋はひっ込み、ヤミ米取次店も姿を消したワケ—。

○…さてここバネはよその盛り場と違って赤線や青線的なものはない。そのかわりにオリンピア劇場あたりに女工上りらしいのがヒョッコリ姿をみせるのはやっぱり土地柄だという人もある。利用者はもっぱら川口鋳物工場の工員とか浦和近郊の若いお百姓の兄ンちゃんで、荒川堤とか工場脇広場が楽しいホームグラウンド。だがそれも夏から初秋までの話。これから寒くなるとやっぱり温泉旅館らしいところに落ちつくことになる。駅前お巡りさんの話によると、HとかAという一流旅館は別として御同伴歓迎のあやしげなのがポツポツ出来ておるのもそのためではないかという。なかにはこれらの旅館もたやに手伝とも女中ともつかない女が出入りしているのが、しいて青線といえるだろうとのことであった。

【写真は復興会商店街】

街が素晴しくなったので、内容も右へならいしなくては…

エムさん 石川進介 317

やっとできた

すてきですわ

これを忘れていた

原子砲オネストジョンですの

中共から 近く二百名帰国か

近く中共から約二百名の日本人の帰国が実現する見通しが強くなった。ジュネーヴの赤十字社連盟執行委員会に出席して、さる十三日帰国した井上日赤外事部長は十七日中川外務省アジア局長を訪問、同委員会に出席の中共代表林士笑中共紅十字社副秘書長が『近く日本人約二百名送還する』と言明したと報告してきた。さらに同日北京訪問中の上林山栄吉代議士から『毛主席が十五日議員団に対し戦犯のうち老人、病弱者、刑の軽いものを近く釈放すると確約した』という戦犯に関する情報も日赤に伝えられたので日赤では一般人と戦犯の両方に近く朗報があるものと期待している。

マーサ・グラーム舞踊団来日

現代舞踊界の最高峰をゆく米国のマーサ・グラーム舞踊団が十七日午前九時二十五分羽田空港着の日航機で来日した。一行はマーサ・グラーム団長のほか舞踊手十三名などの三十四名で、十一月一日から七日まで産経ホールや東京宝塚劇場などで六回にわたり公演を行う。なお同機でさる八月、ベニスで開かれた映画祭に出席のため渡欧、その後イタリア、スイス、フランス、アメリカの各国を回って映画親善のつとめを果した草笛光子さんも帰ってきた。

【写真は羽田についたマーサ・グラーム嬢】

土地を餌にサギ 三人男三百万円

成城署では十七日朝新宿区番衆町三二建築業平野清(四七)北多摩郡狛江町和泉二三八〇土地ブローカー伊佐離猪之吉(五三)同狛江町猪之五〇八中村正雄(五三)の三人を公文書偽造行使、詐欺容疑で送検した。同署の調べによると平野らはさる三月七日大田区馬込西四の二四会社員直井義晴さん(五三)方を訪れ大阪薬科大学学長柿沼三郎氏名義の偽造した印鑑証明をみせ『大井町線旗の台付近に百四十坪の土地がある』ともちかけ百三十万円を詐取したのをはじめ、大阪居住者で東京に土地をもっている人の印鑑を偽造、二十九年十一月から現在までに三件約三百十万円の詐欺を働いていたもの。

愛人誘った男刺さる 嫉妬に狂う許婚者の凶刃

【大多喜発】千葉県大多喜町大田代一九九農業古茶清一(二四)は十六日午後十一時ごろ役場前県道上で同町農業大沼将さん(二三)を西洋カミソリで背後から切りつけ瀕死の重傷を負わせた。大多喜署で調べているが、古茶の婚約者佐藤花江さん(一八)が大沼さんと同日映画見物に行ったのを嫉妬したもの。

ポン中の妻を殴殺 深川のバタ屋

飯島清一

十七日午前五時ごろ江東区深川塩崎町一塩崎荘内バタ屋山本清一こと飯島清一(三一)の内妻市川幸子こと富岡幸子さん(三三)が全身十数ヵ所の打撲傷を受けて死んでいるのを同アパート内広瀬さんが発見、深川署に届出た。同署では夫の飯島が不在なので殺人容疑者とみて緊急手配、同九時ごろ飯島を台東区浅草花川戸二の六言問橋下バタ屋部落に立ちまわったところを逮捕した。自供によると幸子さんは日ごろからヒロポン中毒で金さえあるとヒロポンをうっていたので、飯島はそれをなおそうとしていたが、前夜十時半ごろ飯島が帰宅してみると金が足りないので追及するとヒロポンをうったことが判り、夫婦喧嘩となり飯島が棒などで全身十数ヵ所を殴打足蹴にするなどして殺したもの。

丸善で女飛下り自殺

十七日午前十時二十分ごろ中央区日本橋通り二の六丸善ビル(管理者高橋福太郎さん)の十階屋上のゴルファーセンターから四十才位いの和服の女が飛下り自殺をはかり三十米下の同ビル西側裏路上にあった大八車の上に墜落即死した。日本橋署の調べでは女は大田区北千束七六二無職渡辺清子さん(四三)で肺浸潤で昭和医大に通っていたところなどから病苦による覚悟の自殺とみられている。

【写真は丸善裏の飛下り現場】

私も一言

みなさんからの喜び、苦情なんでも扱いたいと思います。投稿の際は「私も一言係」

守られぬ車内道徳

今年は国鉄開通八十三周年記念でいろんな行事が各地で催され、その間における交通機関の発達の模様を交通博物館などで展覧していますが、残念ながら交通道徳の方はどうも電車の発達とは反比例しているようです。例えば私はいま中央線二等車の車掌をしておりますが、戦前二等車は列車の中央部に配車されていましたが今のように専務車掌などはなく、乗客の良心にまかせているような状態でした。ところが今日では乗客の三分の一は二等乗車券を持たずに私共専務車掌がくるのを待って買うといった状態で、国鉄としてもこれに相当の人件費をかけていることと思います。二等切符を持たない人に限って乗車中の退屈しのぎからかサービスが悪いとかなんとかいろいろからんでくるのです。国鉄では苦しい車両の中からあれやこれやとサービスをしている訳でそう無理をいわれても困ると思うのです。満員電車に揺られての朝夕の通勤もなかなか大変で不愉快なことも多いでしょうが、車掌としてもこれ以上乗客が増えれば責任が持ち切れなくなります。なんとか官庁や会社を中央にばかり集めないで地方へ分散させる方法はないものでしょうか。毎日毎日ラッシュ時の責任感で近頃流行のノイローゼ気味です。最後にこれから寒さに向いますが酔って帰る客がふえ手を焼かせるのです。お客さまなので私共も出来る限りのことはしますが、二等車で小間物店を開いだり他の客へ迷惑をかけることなどをしないよう願いたいものです。(中野車掌区・町田伍十五)

轢殺して逃走 悪質運転手捕る

十七日午前一時五十分ごろ北区堀船町一の一八四先で同区昭和町三の三〇太平交通修理工高知三郎さん(三五)は道路を横断しようとしてネズミ色ルノーにはねられ頭を打って即死した。王子署では足立区千住中井町三山武タクシー運転手馬場政吉(四五)を検挙した。

同愛病院返還さる

米陸軍第三六一病院としてさる二十年十月から接収されていた墨田区横網町四旧同愛病院はこのほど接収解除になり、その返還式が十七日午前十時から同病院で行われた。十年間にわたって掲揚されていた米国旗が降ろされ、米第八軍軍医官スタンリー少将が病院の鍵を福島調達庁長官に手渡し、代って日の丸の旗が掲げられて同十時半、式を終った。

卓球の西村さん婚約

【京都発】一九五二年ボンベイの世界卓球選手権大会のダブルス戦に優勝した西村登美江さん(二三)=京都市役所体育課勤務=が十一月結婚する。新郎は大阪市西成区津守町東二丁目、大阪書籍KK勤務沢田鏑一氏(二五)=愛媛県出身。

小山政夫氏(山陽新聞社元取締役)病気療養中十七日午前九時半津山市山北七一〇の自宅で死去。五十一才、告別式日取り未定。(岡山発)

松戸競輪四日目成績 ◇第一B(千)❶小沢義1分24秒4❷皆川誠❸山西達(単)220円(複)140円120円180円(連)740円 ◇第二B(千)❶寺内静1分22秒7❷三森弘❸茂木寿(単)150円(複)110円110円120円(連)❷—❺380円

あすのスポーツ △プロ野球日本選手権シリーズ第三戦(一時、後楽園)△六大学野球 法対東決勝戦(一時、神宮)△女子早慶庭球(十時、早大)△競馬 大井

独眼灯

○…十七日朝八時後楽園球場でその名も『芸能人野球トーナメント大会』と銘うって日本シリーズを向うに回すようなハリ切りぶりで入場式が行われた。

○…参加チームは新派、明治座、演舞場、楽笑チーム、歌舞伎座、俳優座、新国劇、日劇、長唄協会、菊五郎劇団、マルイチ曲芸チームなど十一チーム、顔ぶれをみると梅幸、花柳喜章、島田正吾、灰田勝彦、柳沢真一、旗照夫ら芸能人が打揃った年に一度の球宴—

○…まず前年度優勝チーム明治座から優勝旗の返還が行われたのち、おなじみ水谷八重子の始球式で全チームより選抜の紅白試合が賑やかに幕をあけた。

続 情炎の千代田城（271）

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

げる味覚が交じっている。

『さ、血闘だ』

突っぱなして、木人は床下に消えた。同じところからお静も床下に潜った。

床下に、敵が三人か五人か入り込んでいるようすだ。それへ木人の刀が、音もなく殺到しているらしいのを見すてゝ、お静は裏庭へ、ソッと忍び出た。

庭には八角が一人だけ、八方睨みの構えに突っ立っている。まだ刀の鞘は払っていない。

黒い犬の影みたいに、その横をサッと逃げた。さすがに気付かなかったな、と思ったとき、

『えゝいッ』

どう体を開いて、いつ抜いて、どう斬ったのか、お静は右の臀肉のとっ先に、チクリッとした刺激を感じた。でも、そのときはもう土蔵の横の闇に逃げ、物置の屋根に跳躍していた。その物置へ、抜刀に追われてバタバタと駈け込む男があった。鳶口を握っていた。

お静はとっさに、それを千代太郎だと知った。飛び込むと、すぐガラガラピシャッと内から戸を閉めた。

追って来た浪人ふうが五人。一ばん先頭が、戸を蹴った。二度、三度、破れない。四度目を蹴るのと同時に、ドシンと体をぶっつけた。戸は内側へバタンと倒れ込む、その上を踏んで、

え、きわどい瞬間をチャリンと受け流し、すぐ斬り返えして、千代太郎の右胴へ、

『えいッ』

『どっこい』

これは一間も飛び退って、

『ざまァみろ』

私のコレクション ⑭

カメラ

市村家橘（歌舞伎俳優）

（先）代仁左衛門の次男で、十五世市村羽左衛門の養子というレッキとした名門の御曹司でありながら、ひどくキサクな仁である。小さいときから機械類を集めたり、いじくりまわすことが大好きだった。『おやじが、やっぱり写真機が好きでね。いまからみると古臭いシロモノだが、四つか五つ持っていた。小学生のころだった。僕もなんとかしてそのカメラに触ってみたくてね。おやじが芝居へ行ったすきにこっそり持ちだして、ワクワクしながらいじっているうちに、コワしちゃってお目玉くった思い出がありますよ』となつかしそうに語る。

（三）つ児の魂百までもで、それから現在に至るまで、手にしたカメラの数は『ちょっと数えきれませんな』だそうだ。『なかには、ずいぶん珍しいものもありましたが、三年前にみんな手離しちゃって、でも最近また集めたいと思っているんですよ。一昨年、義兄（先代羽左衛門）が死んでから、いろいろなことを考えた末に、舞台から一時身を退いたのですが、当時『写真を撮ることばかり巧くなっても、芸のほうが巧くならなくちゃネ、なんていわれたこともあって、スッパリやめちゃおうと、持っていたカメラを全部売ったり、やったりしちゃったんです。なかには明治年間の写真師、下岡蓮杖の高弟が使っていた機械とか、明治二十一年に平塚の工場で作って日本で最初に売りだされたカメラとか、変ったシロモノもあったんです。天保時代のガラス写真なんてのもありましたがこわしちゃってね。それが昨年春、舞台に戻ってから、またやりたいと思い直しましてね。カメラだけじゃなくて自動車いじりと時計の修理も病コウモウで、自動車の修理がカサむので目下カメラのほうがお留守になりがちですが……』いうことが至極正直で面白い。

修理も玄人なみ
近所のカメラ屋から"SOS"の電話

（集）めるのもそうだが、お得意はこれを修理する技術で、玄人はだしの腕前ーどころか近所のカメラ屋が手に負えない修理品を持ちこまれたときなどは、家橘邸にSOSの電話がかかってきたりする位のもんだ。一日のうち何時間かは、江戸川乱歩の小説にでてくるみたいな屋根裏の暗室で、一人でゴソゴソやっているんだが『よく飽きないと思いますわ』とヒサ子夫人が笑う。でも亭主の好きなナンとかで夫人も結構カメラ好き。写楽会（歌舞伎俳優のカメラ・グループ）の集いにも仲よく出かけたりしているし、小学校一年の長男の寿（ヒサシ）クンも、親父のカメラをいじくってコワしたりしているというから中々よくしたものだ。

芝居みたまゝ
スターのいない弱さ
新発足の『浅草フランス座』

▽…ストリップの看板をはずした新発足第一回公演だが、まず何よりも大衆演劇のために敢然と旗印を掲げた英断を賛えてこれからの敢闘を大いに期待する。

▽…呼びものは、小崎政房の作『脚の会の妖婦』三幕三場。"脚の会"というのはサンドイッチ・マンのグループの呼称で、彼らの溜り場栞事務所の一パイ道具（大久保四郎の装置が重厚味があってなかなかいい）を背景に、さまざまな群像から一つの世相が描き出されるという態の風俗劇。登場人物相互の噛み合いにもっと力が入ったら面白くなったろう。佐藤久雄の親方はじめ男優陣（チョイ役だが佐山俊二がいい味を見せている）が比較的好演しているのに比べて、フリーダ松木改め小糸はる、玉川みどり、新人原陽子ら女優陣がなんとしても弱いのは今後に残された課題だ。

▽…水守三郎作『のんき裁判』は文字通りのアチャラカ劇。ショウは『リズム・エンド・ブルース』二十景。特別出演のアックル・チーム大橋三姉妹が一番光っているのではチト情けない。ここでもスターのいないことが最大の悪条件。とにかく魅力のあるスターを連れてくるか、つくり上げるかそれが目下最大の急務であろう。（橘）

【写真は『脚の会の妖婦』の八波むと志（左）と佐山俊二】

『しぐれ吟社』例会、二十二日五時半、須田町一柳森神社。宿題・燃える、キノコ、女ごころ、障子、話。席題二。

都々逸名選

小沢扇太郎選

やきもちの夫に本当がいえない事もあって人妻美しい　前橋・川端柳

耳に受話機をじーっと当てて貴方のお声をたしかめて　向島・君福和子

秋の夜に虫の泣く音を淋しくきいてひとりぼっちの泣き寝入り　浦和・尾迫逸夫

美しく見せたい本能女になって細く引いてるひき眉毛　蒲田・大塚扇久

二人だけ反対したけど多勢に無勢雑魚寝ときまったお湯の宿　神楽坂・藤村家鶴たん

◇

別れて三年出世の噂落し物でもした心地　選者

スター・プロにも悩み
ワキ役集めで苦労
メンバーの有馬までとられた にんじんくらぶ

佐野周二、佐田啓二らのまどかぐるーぷが第一回自主作品『花ひらく』を完成したのに引続いて、にんじんくらぶでは有馬稲子を主演に『胸より胸に』を目下製作中といった具合で、それぞれ昨年発足した俳優グループも念願の自主映画製作に鋭を入れている。ところがこのスター・プロダクションにしてもいろいろと悩みは多いらしく配役の面でも主役は揃うが肝じんの脇役を集めるのに苦労するといったこともあって、スターがいるからおいそれと映画が製作できるとは限らない。そこで昨今のスター・プロの自主製作運動から数々の裏話を拾ってみた。【写真は『胸より胸に』の有馬稲子㊧と久我美子】

里見有理　佐野周二　伊藤雄之助　鶴田浩二　灰田勝彦

にんじんくらぶが目下製作中の高見順原作『胸より胸に』（演出家城巳代治）は十月に入ってから肝じんの主役有馬稲子を松竹の『泉』（演出小林正樹）に取られて一時中休みの状態になっていた。勿論その間にはできるだけ彼女の出番のないシーンを撮っていたのだが、物語が彼女の一人芝居のようなものだし、そうそう都合のよい場面ばかりあるものではない。そこでむくれたのがスタッフの連中で『クラブの作品なのに主役の有馬を取られっ放しとは、いかに相手が松竹とはいえプロデューサーの怠慢である』とにんじん若槻代表はすっかり吊し上げにあってしまった。早速にんじんから『泉』のロケ先軽井沢に人が飛んで有馬を貰い受ける交渉をやったが、さてこうなると両方とも彼女が主役だけになかなか話がまとまらない。クラブ員の有馬すらがこの通りである。従って他社から借りる脇役に至っては大変な話だ。東映からストリッパー役に新人の里見有理を出演させるにしてもまず東映の俳優課長に話をつける。続いてマキノ専務、大川社長の決裁を受けるといった具合で、この間約十日間はかかった。『そうですね。作品が有馬君のものだけに、相手役や脇役を交渉するのが大変です。やはり誰でも自分の見世場を考えますから……』と若槻プロデューサーも渋い顔をしている。

ところでまどかぐるーぷの第一回自主作品『花ひらく』は珍らしく五百万円の黒字だった。大体独立プロの作品というものは儲からないものがほとんどだ。配役の選定、スターのスケジュールなど考えている間にどんどん製作費がかさみ予算をオーバーしてしまう。その点まどかの場合は主役から脇役まで十四人そろっているということが大きな強味だったわけだ。そこで佐野周二をはじめぐるーぷの連中はすでに第二回作品の準備をしているが、『原作ものは平凡だし、こんどはニュースからテーマを拾って脚本を練ろう』という佐野御大の声に全員自宅に新聞、週刊誌の類いを数十種とって片っぱしから読み漁っている。坂本武などはスクラップを作っている。

俳優グループでも自主作品にかかるのが一番遅れているのが三国連太郎、小林桂樹、伊藤雄之助、加東大介の三文クラブで、三国と伊藤が日活、小林と加東が五社側といった具合で、目下の状態では四人が顔を合せる自主映画は当分できそうもない。伊藤などは近くクラブを株式組織にしようと考えているようだ。その反対に、いち早く自主映画を製作し、これも早いところつぶれてしまった鶴田浩二のクレインズ・クラブは借金の穴埋めに懸命だが、その鶴田に目下さそいをかけているのが彼の義兄弟という灰田勝彦のプロで、第一回には、にんじんの『胸より胸に』へ資金だけ貸して名義だけの製作者になったが、次回作は巨人軍の別所投手、プロレスの東富士と鶴田、灰田の四人が出演する映画を製作しようとねらっている。

横おしゃべり

集団赤痢

赤化でなくてよかった。

――自衛隊幹部

マイクのカゲ

スポンサー根性

▽…クイズ番組が増えるようでは世の中は不景気だ。聴取率が高く、出題者も回答者も共に金のかからぬ聴取者だから、スポンサーとしては他のドラマや歌謡番組に比べ経費をかけなくてすむからだ。それはそれでよいとして、経費をかけずに宣伝だけは大いにやろうとするから、勢い番組の中でやたらに品名をあげて聞難いものにしてしまう。ひどい例が、KR金曜夜八時の『おはこ大学』で、内海突破と桜京美が司会をしているが、スポンサーはかつて突破が『陽気な喫茶店』ではやらせた『ギョッ』にならって会社名を新語なみに使わせている。まさにギョッ！

【写真は内海突破㊨と桜京美】

身体障害者起用案？

▽…ラジオドラマは週に五十本以上も放送されているが、聴取者の胸を打つ演技をやるラジオスターが何人いるだろうか。台本が悪いといってしまえばそれまでだが、ドラマに出る映画、演劇人の多くはアルバイト程度にしか考えていないようだ。いっそのことラジオスターには身体障害者を起用したらどうだろう。手がない、足が悪いという人達の強い生活意欲をマイクの前でかきたたせたらきっといいドラマが演じられるだろう。

再登場番組とファン

▽…LFの『歌声は消えず』KRの『鞍馬天狗』は評判の良かった実績がモノをいって再登場したが、ことにセミドキュ・ドラマの『歌声は消えず』が放送を中止したときはファンから恨みの投書が殺到したものだ。それだけに今度はファンから喜びの投書も多く、制作部は何となくおもはゆくてならぬそうな。（堀）

はと笛

▽…お話はいささか古くなるが、いまから十五日程前のこと田村高広と片山明彦それに松竹製作本部のO氏の三人が銀座裏のバーを五、六軒飲み歩いたことがあった。

▽…とにかく三人とも酒にかけては豪の者だけにその夜はベロンベロンになったが、この頃になってやたらにO氏へ電話がかかってくる『ネエ、また田村さんと片山さん連れてきてエー』という甘いセリフつきのもの。すっかりくさったO氏『結局俺はどうでもいいから二人の顔を見たいなんて…』とブツブツ。【写真は田村】

ラジオ・プログラム　18日（火）

★NHK第1★ 590KC

7・45 朝の訪問　中村直勝
8・05 デイミトリ・ミトロプーロス指揮　コーカサスの風景
10・15 わが家のリズム
0・30 小ばなし横町
1・05 婦人の時間　風車ほか
2・05 ❶秋のドライヴ　桂三五郎　芳枝❷課長の犬　春風亭柳昇
2・30 独唱　稲葉政江
3・15 雨跡　坂本和子ほか
6・25 オテナの塔　AK劇団
7・30 話の泉　ゲスト　朝比奈貞一
8・00 青空の仲間第七話　島崎雪子　エノケンほか
8・30 民謡をたずねて　五局リレー　吾妻桃也ほか
9・15 劇　源義経　岩井半四郎　福助
10・40 芸術よもやま話❶

★NHK第2★ 690KC

7・30 ロシア文学入門❸
8・30 ヴオーン・ウイリアムズ作　舞踊曲『ヨブ』
9・30 アナウンスの仕方
11・45 苦悩するフランス
0・30 ボンゴのひびき　中原美紗緒　ジエイムス繁田
1・15 交響曲の時間
1・45 プロ野球　巨人対南海　後楽園から中継
4・00 デイスクジヨツキー　解説　牧芳雄
6・40 科学家庭座談会　スポーツと体　慈大　松本良一
7・00 名曲鑑賞　二十世紀の歌劇❷解説　寺西春雄
7・30 録音構成　次三男の開く村
8・05 秋の夜空・宇宙の神秘を探る　東京京都二元
9・00 フアリア作曲　三角帽　東フイル　指揮　森正

★ラジオ東京★ 950KC

8・35 花ふたたび
9・05 ウツカリ夫人星空も美しくの巻
10・10 泉鏡花作　葛飾砂子
11・05 新警察日記
0・30 キング・アワー　津村謙　春日八郎　林伊佐緒
1・20 音楽の散歩道
1・50 プロ野球　南海対巨人　後楽園球場　解説　大和球士
5・30 鞍馬天狗少年版
6・25 トニー谷シヨウ
7・30 落語　鯱沢　柳好
6・00 剣に生きる人々　柳生石舟斎❸市村羽左衛門ほか
8・30 歌の風車　曽根史郎他
9・10 浪曲天狗道場　前田勝之助　相模太郎
9・40 劇　ホガラカさん　野添ひとみ　轟夕起子ほか
10・15 銀座善人　市川紅梅他

★日本文化★ 1130KC

7・30 三枝登とその楽団
8・10 おしやべり　楠トシエ
9・15 録音　都会のおとし穴
10・40 君ひとすじに
11・15 録音風物詩きりたんぽ
1・15 噺の素　三遊亭金馬
2・00 劇　メツカ巡礼
2・35 サムライの末裔　東山千栄子
3・00 チヤーリイ石黒と東京パンチヨズ
4・00 コンサート・ホール
6・00 少年宮本武蔵
6・25 LPヒツトパレード
7・30 漫才クイズ　いとし・こいし
8・30 徳川家康　宝井馬琴
9・00 歌うバースデイプレゼント　ペギー葉山　岸井明
9・30 ❶東京漫歩　タイヘイ糸路洋児夢路❷紋三郎稲荷　円歌

★ニツポン★ 1310KC

7・35 剣豪小説論　高木健夫
8・00 サザエさん　野中マリ
9・45 田之助紅❷　雁治郎　扇雀
10・00 花は燃えている
0・00 ❶底抜けアルバム　一歩道雄❷権助芝居　夢楽
1・00 土曜日の天使❷
1・35 やりくりチヨ子さん
2・30 NBCコンサート
3・00 お笑いバスケート
4・00 劇　君美しく
6・00 ポツポちやん物語　劇団東芸
7・30 ミラクル・メロデイ　ゲスト　江利チエミ
8・00 今週の花嫁花婿
8・30 水戸黄門漫遊記　突破　猫八　小金馬　市川すみれ
9・30 火曜劇場　三村伸太郎作　吉野仏　香川京子ほか
10・00 劇　南無三宝